

GM

Governor's Monthly Letter

ガバナー月信
会長・幹事殿

Rotary
District 2710

2025-26 ROTARY
INTERNATIONAL
District 2710

Vol. **06**
2025.12

「例会」

会長・幹事の皆さま、そして会員の皆さま、こんにちは。

「例会出席は義務ではなく、皆さんの権利だと思ってください」

あるクラブを訪問した時に、エラそうなことを言いました。

2016年、国際ロータリーは“クラブ運営の柔軟性”と称して、

クラブの裁量で例会回数の変更(削減)を認めました。

例会は「親睦を通じて友情を深め、自己成長を図り、奉仕の心を育む」場であります。

であるならば、**例会こそがロータリー活動の中心**といえるでしょう。

あるクラブの会員さんが言われました。

「今日またみんなと会えることが出来た。」

私にとっては、それだけで十分有意義な例会ですよ」

例会はオアシス？ それとも人生道場？

クリスチャンが心を磨くための教会のようなもの？

Enjoy Rotary

皆さんロータリーを楽しみましょう。



Contents

ポリオについて	02	KENYAKU運動20周年のご報告	08
第2回 諮問委員会報告	03	台北でつながりを広げよう	
広島陵北RC 創立35周年記念例会報告	04	2026年ロータリー国際大会参加のお願い ...	10
下関西RC 創立55周年記念式典	05	新会員紹介/会員の増減・出席率	11
福山RAC「セミな～る例会」報告	06	地区大会	12
広島RAC「千羽鶴例会」.....	07		

《今月の特別月間》

疾病予防と治療月間





ポリオについて

国際ロータリー第2710地区 2025-26年度 ガバナー
土肥 慎二郎

未来の子供たちへ、ポリオのない世界を

私たちは、ポリオのない世界を未来の子どもたちに約束しました。

「あと少し」ポリオの根絶を実現させましょう。

- 1985年 ポリオプラス・プログラム開始
世界で**35万件**が発症
- 1994年 南北アメリカで根絶
- 2000年 西太平洋地域で根絶
- 2014年 東南アジアで根絶
- 2020年 アフリカでポリオ根絶

現在(2025.11.14) アフガニスタン**9例**
パキスタン**30例**



2025年10月18日 日本経済新聞全国版

ポリオは根絶可能な病気です！

公式訪問で私が言い続けた言葉です。

貧困地区である、インドやアフリカ、またナイジェリアのような武装組織の存在する国でも根絶されました。

もし根絶できなければ、半永久的にワクチンを投与しなければなりません

ポリオは発症すると治療方法はありません。

予防するためにはワクチンが必要ですが、安全なワクチンを投与するのに一人20,000円かかります。日本でも年間140億円かかっています。

またワクチンの投与をやめしまうと、爆発的に感染が拡大してしまいます。

なぜ、根絶までに時間がかかっているの？

宗教的な理由でワクチンを拒否する家族がいます。
また紛争地域では、ワクチンの投与やウイルス検査が行えない事情があります。
しかしながら、地道な活動により少しずつ改善しています。

お金がかかりすぎなのでは？

ポリオに対して、ロータリアンはひとり30ドルの負担が求められています。
全世界のロータリアン115万人で、5000億ドル、それ

にビル・ゲイツ財団が1億ドルの上乗せをしてくれています。

ワクチンのみならず、根絶活動の運営、研究所の整備、医療従事者の確保、ポリオワーカーへの教育や指導、給料などに充てられます。

日本の仲間が頑張っている

元々、東京麹町ロータリークラブなどがフィリピンでこの事業を始めたのがきっかけです。

またチーム・ポリオ・ジャパンとして、毎年10回位、パキスタンでのワクチン投与活動を行っています。



第2回 諮問委員会報告

国際ロータリー第2710地区 2025-26年度 地区代表幹事
奥谷 求
(東広島21RC)

2025～2026年度 第2回諮問委員会が9月25日(木)15:30よりホテルグランヴィア広島で開催されました。

はじめに、上田直前ガバナーより2024～25年度の活動報告があり、決算、会員の動向、ロータリー財団、米山記念奨学会、各種表彰などについて資料に基づき詳細な説明がありました。

その中で会員の動向について、前年度は会員が37名減少したものの女性会員は7.4%増の221名であったことも紹介されました。

次に土肥ガバナーより本年度の報告があり、地区大会や地区活動並びに概況報告をされ、その中で会員動向、地区奉仕プロジェクト、ロータリー財団など各委員会や米山記念奨学会の活動状況、そしてウクライナとの国際共同委員会についてなどが資料に基づき説明がありました。

また、新クラブ「広島新世代ロータリークラブ」の創立が9月1日付で承認され、11月27日にチャーターナイトが

開催される予定で、所属はグループ8になることも報告がありました。

次に、脇ガバナーエレクトより2026～27年度2710地区ガバナー補佐が決まり、担当者もほぼ内定したことや次年度地区大会の概要などが説明されました。

これらの報告について各バストガバナーより適時質問等があり、それぞれ上田直前ガバナー、土肥ガバナー、脇ガバナーエレクトから回答がありました。

その後、土肥ガバナーより地区大会の在り方やRI会長代理の出席等について諮問があり、それに対し各バストガバナーよりそれぞれの思いや考えなど提言して頂きました。

最後に地区戦略計画委員会の協副委員長(バストガバナー)からグループの再編、余剰金の使途についてなど同委員会では協議しており、次回諮問委員会で結果を報告する予定としているとの委員会報告がありました。



広島陵北RC 創立35周年記念例会報告

国際ロータリー第2710地区 2025-26年度 広島陵北RC会長
武田 龍雄

我が広島陵北ロータリークラブは、1990年9月12日スポンサークラブである広島北ロータリークラブを親クラブとして、二宮義人初代会長以下29名のチャーターメンバーにより誕生し、また、1999年3月には、二宮初代会長を特別代表として広島安佐ロータリークラブを設立させていただきました。

先輩会員が築き上げられたロータリーの精神を引き継ぎ、2025年9月13日 広島陵北ロータリークラブの35周年記念例会を無事開催いたしました。

本年度も親クラブである広島北ロータリークラブより藤田会長、高見幹事、中尾パスト会長、上野パスト会長、子クラブである広島安佐ロータリークラブより山岡会長、中村幹事に出席頂き、また、本年度は、友好クラブである台北松山ロータリークラブと5年ごとの交流の年度にあたり、台北松山ロータリークラブ会員、パートナー、ご家族の20名の方に出席頂き、親睦を4ロータリークラブにおいて深める広島陵北ロータリークラブ35周年記念例会となりました。

広島北ロータリークラブとは、台湾花蓮県での上水道施設設備の支援等、広島安佐ロータリークラブとは比治山公園清掃事業等、社会奉仕事業を実施し、各クラブと協同して地域社会、国際社会への貢献に努めるなど日ごろより親睦の深い親子3ロータリークラブです。

また、台北松山ロータリークラブとは、コロナ禍のため、30周年記念例会の出席はかなわず、10年ぶりの

交流となりました。友好クラブとなった2011年から交流を深めてきた会員には、旧交を温める時間となり、初めての交流の場となった会員には、国際交流の良い経験と新たな交流の始まりの場となりました。

そして、台北松山ロータリークラブと台北松山ロータリークラブの友好クラブである花蓮中区ロータリークラブの3ロータリークラブによる、中華民国花蓮県吉安群南華小学校に教育用パソコン・備品一式を贈呈する35周年共同社会奉仕事業を実施し、奉仕の理念で結ばれた3ロータリークラブの友好を深めるとともに、新たな国際奉仕の輪が広がりました。

また、例会のアトラクションとして、広島山陽高等学校和太鼓部“弾”による和太鼓の演奏を披露していただきました。

和太鼓の演奏も時代とともに変化していることに驚くとともに、真摯に和太鼓の演奏に取り組む高校生たちの姿に、青少年奉仕の大切さを実感し、また台北松山ロータリークラブの会員の方には、日本文化にふれてもらえる時間となりました。

例会最後には、日本独自の「手に手をつないで」で、無事閉会致しました。

12月には、台北松山ロータリークラブ35周年記念例会に広島陵北ロータリークラブ会員、パートナー、家族20数名で参加し、台湾で親睦を深めます。





下関西RC 創立55周年記念式典

国際ロータリー第2710地区 2025-26年度 下関西RC会長
米谷 盛人

去る令和7年9月20日(土)、当クラブの創立55周年記念式典を開催させていただきました。

本式典には、当クラブの姉妹RCである韓国釜山港都RCの皆様、台湾高雄西區RCの皆様も駆けつけて下さいました。5年前の創立50周年の際は、コロナ禍ということもあり、姉妹RCの皆様をお招きすることが叶わなかったため、楽しさも嬉しさも倍増で非常に素敵な時間を過ごすことが出来ました。

さて、この度の創立55周年行事は、計4日間の長丁場でした。

韓国釜山港都RCの皆様が、19日に福岡空港から下関入りされて21日に帰国されました。台湾高雄西區RCの皆様は18日に福岡空港から下関入りされて21日に大阪へ向かわれました。

1日目:福岡空港にて台湾高雄西區RCの皆様をお出迎え。その後宿泊ホテルまで同行。

2日目:福岡空港にて韓国釜山港都RCの皆様をお出迎え。その後下関入り。台湾高雄西區RCの皆様は一日観光でおもてなし。同行された会員の皆様には感謝です。夕方より当クラブの会員+姉妹RCの皆様でウェルカムパーティー開催。総勢57名の懇親会では言葉の壁もなんのその。初めて会う人も、久しぶりに会う人も、皆さんカタコトの英語力と身振り手振りで意思疎通を図り、かなり内容の濃い交流が図れたのではないかと思います。やはりお酒の力は世界共通です。

3日目:式典当日。日中、姉妹RCの皆様は朝から観光。生憎、短時間豪雨に見舞われたため、早めに切り上げたそうですが、それでも楽しんで頂けたそうでほっとしました。

私はというと、式典開始直前まで、式典の流れの確認や担当者の動きの確認など様々なことを想定したりハーサル。やればやるほど、改善点が出てくる。また、

韓国釜山港都RC様より姉妹締結の記念として過去に寄贈された普段は使用しない立派な鐘を本式典で使用するようになっていたのですが、点鐘の強弱が特に難しい。また緊張していたこともあって予定していた挨拶なども舌がうまく回らない。いよいよ時間も迫ってきたので開き直ってやりきるしかないと自分に言い聞かせたのを覚えています。式典本番のメインは姉妹締結の再調印式。多くの来賓の皆様の前で調印できたことは当クラブとしても私個人としても本当に喜ばしいことであり又末永く交流を続けていくことの誓いでもあると思います。多少の失敗はご愛嬌として、無事に式典を開催できたことに感謝です。式典後の祝賀会も多くの皆さんが親密な交流を図ることができたことに感謝です。私の心残りは、普段の例会の食事よりはるかに豪華な食事だっただけに、ほとんど食事ができなかったことが悔やまれます。

最終日:両姉妹RCの皆様を、空港や駅までお見送りして終了。

怒濤の4日間でした。細かい記憶はあまり残っておりませんが、楽しかった・嬉しかった・疲れた・呑みすぎて気持ち悪いなど、色々な感情と体の症状でしたが、気分は晴れやかなものでした。

このような貴重な経験を味わうことが出来たのも、これまで55年という永きにわたり、当クラブの伝統を築いてこられた諸先輩又関係各位の皆様方のおかげであると共に国境を超えて世界中の同志と出会えるロータリークラブに所属しているおかげであると思っています。今後もこの貴重な経験を多くの仲間と共有できるよう努力していくこと並びにこの経験をロータリー活動の基本である奉仕活動に活かして行動していくことをお誓い申し上げて、皆様へのお礼とご報告と致します。





福山RAC「セミな～る例会」報告

国際ロータリー第2710地区 2025-26年度 福山RAC 会長
本川 聖人

福山ローターアクトクラブでは、8月9日(土)に「セミな～る」と題した例会を開催いたしました。「セミな～る」は本クラブで例年開催されている歴史ある例会であり、夏の恒例行事として会員の親睦と地域との交流を目的に行われています。本年も、福山ロータリークラブ会員であり三蔵稲荷神社の宮司でもある石川様のご厚意により、同神社の境内をお借りして実施いたしました。

事前の打ち合わせの際、石川宮司から『若者の地域との繋がり希薄化』についてお話を伺いました。これは私たちクラブにとっても深く共感するテーマでした。コロナ禍を経て、例会や行事の中止・縮小が続いたことで、当クラブでも代々の引継ぎが十分に行えず、活動の継続性や会員同士の繋がりがやや薄れてしまったと感じていました。そこで本年度の「セミな～る」では、クラブターゲットでもある「繋がり」をテーマに掲げ、コロナ以降途絶えていた流しそうめんを復活させ、会員同士が協力し合う機会を増やすことを目的としました。

当日は午前中から会員が集合し、会場設営や食材の買い出し、竹の準備などを分担して行いました。流しそうめん用の竹は、会員が自ら切り出し、節を取り、磨き上げて組み立てた手作りのものです。慣れない作業に苦勞しつつも、互いに声を掛け合いながら完成させたその過程には、まさに人と人との繋がりが息づいていました。竹に水を流し勢いよく流れ落ちる様子が歓声が上がり、達成感と喜びを全員で分かち合いました。準備の段階から、互いに支え合う中で生まれる「繋がり」を強く実感する時間となりました。

また、当日の流しそうめんで使用した麺は、石川宮司の奥様が庫裡にて丁寧に湯がいてくださいました。暑い中、参加者のために準備いただいたそのお心遣いに感謝するとともに、地域の方との温かな繋がりを感じるひと幕となりました。

夕刻の例会では、点鐘、参加者紹介、報告事項、ガバ

ナー挨拶、地区代表報告と続きました。今年は国際ロータリー第2710地区土肥ガバナーをはじめ、他地区ロータリークラブ・ローターアクトクラブの皆さまにもご参加いただき、地域を越えた繋がりを感じられる特別な場となりました。また、毎年ご支援くださっているOBの皆さまにも設営や準備からご協力をいただき、代々受け継がれてきたクラブの温かい絆を改めて感じることができました。

後半では炭火を囲んでのバーベキューを行い、午前中に買い出しを行った食材を囲みながら談笑しました。普段の例会ではなかなか話せない仕事や日常の話題が飛び交い、世代を超えた交流が自然に生まれました。

続いて行った流しそうめんでは、手作りの竹を使ってそうめんを流し、参加者全員が笑顔で箸を伸ばしました。会員からも「自分たちで作ったからこそ特別な体験になった」との声が寄せられ、準備の苦勞が報われる瞬間でした。

例会は盛況のうちに終了しましたが、閉会後に突然の雨に見舞われ、撤収作業は翌日に持ち越すこととなりました。雨が上がった後日、会員が再び集まり、竹や備品を整理・清掃しながら片付けを行いました。予期せぬ困難の中でも互いに助け合い、最後までやり遂げた姿勢は、まさに「繋がり」の力を体現するものでした。

今回の「セミな～る」例会は、準備・実施・片付けのすべてを通して、会員、OB、他地区ローターアクトクラブ、そしてロータリアンの皆さまとの「繋がり」を改めて実感できる活動となりました。今後もこの繋がりを大切に、地域とともに歩むクラブとして、心と心を結ぶ活動を続けてまいります。

以上、8月に開催いたしました例会「セミな～る」のご報告とさせていただきます。





広島RAC「千羽鶴例会」

国際ロータリー第2710地区 2025-26年度 広島RAC 会長
岡崎 真衣

2025-26年度会長を拝命しております、第一生命保険(株)の岡崎と申します。

当クラブは、被爆地で活動するクラブとして、原爆の悲惨さや、被爆者の方々の思いを次世代へ継承し、平和について考えるきっかけを創出することを目的に、毎年9月に「千羽鶴例会」を実施しております。

本例会には、国際ロータリー第2710地区のロータリアンの皆様、米山奨学生の皆様、そしてローターアクトを含む約70名の方にご参加いただき、盛会のうちに終了いたしました。

被爆から80年を迎えた今年、被爆者健康手帳の所持者数は初めて10万人を下回り、平均年齢も86.1歳となるなど、実際に原爆を経験された方々の声を直接伺うことが難しくなっている現状があります。

このような背景を踏まえ、今年度の千羽鶴例会では「考動(こうどう)」をテーマに掲げ、平和について「考える」だけでなく「行動する」ことの大切さを参加者全員で共有する場といたしました。

今年度は、みどりホールディングス様が特別協賛されております、映画『惑星ラブソング』の監督・脚本を務められた時川英之様、そして広島市職員の本原真様をお招きし、それぞれの視点から平和への思いを語っていただきました。

時川様からは、映画制作に至った経緯や、作品に込めた平和への願い、そして自身が取り組まれている平和活動について、熱意あふれる講話をいただきました。「戦争の描写に苦手意識や抵抗感のある方でも、誰もが身近に平和について考えることのできる映画を制作することこそ、私自身の使命だと感じている。」という時川様の映画制作に対する思いは、参加者の心に深く響きました。

本原様からは、広島市が取り組む被爆80周年関連事業についてご紹介いただき、行政の立場から見た平和教育の現状や課題、そして市民との協働による取り組みについて具体的な事例を交えてお話しいただきました。

ご講話をいただいた後は、平和記念公園にある「原爆の子の像」で千羽鶴奉納式を行い、ロータリアンの皆様、ローターアクトが心を込めて折った千羽鶴を奉納いたしました。

国際ロータリー第2710地区 2025-26年度ガバナーの土肥様には、事前にご自身でご準備いただいた千羽鶴を、奉納式にて共に捧げていただくという、心温まるご協力を賜りました。

その後、広島平和記念資料館を見学し、被爆の実相に触れることで、改めて平和の尊さと命の重みを感じる機会となりました。資料館では、被爆者の証言や遺品、当時の写真などを通じて、原爆がもたらした悲劇と、それを乗り越えてきた人々の強さに触れることができました。

参加者一人ひとりが深い感銘を受け、平和について改めて考え、自ら行動するきっかけを得る大変有意義な時間となりました。

当クラブは、昨年度より会員数が増加し、現在は30名で活動しております。これは、ロータリークラブの皆様のご理解とご支援の賜物であり、心より感謝申し上げます。

地区内でも突出した会員数を誇る当クラブは、この強みを生かし、今後も地域社会や国際社会に貢献できる活動を展開してまいります。

最後に、本例会にご参加いただいたすべての皆様に心より御礼申し上げます。今後とも、広島ローターアクトクラブへのご支援・ご指導を賜りますようお願い申し上げます。





KENYAKU運動20周年のご報告

国際ロータリー第2710地区 2025-26年度 グループ8 ガバナー補佐

湯澤 俊樹

(呉東RC)

呉東ロータリークラブがKENYAKU運動をスタートして20年が経ちました。

この運動を20年間継続したことと今後の発展を誓い、記念プロジェクトを企画しました。呉市内の8か所の子ども食堂にそれぞれ毎月10kg、1年間で120kgの米を贈ることにしました。児童・青少年の健全育成に少しでも役立ちたいと、呉市社会福祉協議会と連携して記念事業を実施しました。

本年8月28日に呉市福祉会館で贈呈式を開催し、初回の10kgの米を各代表の方々にお渡ししました。贈る側も笑顔、贈られる側も笑顔で、会場内に笑顔が溢れたひとときでした。

20周年記念例会を開催

9月24日、20周年記念の夜間例会を開催しました。20年前の2005年9月28日の例会から、会員が行ったKENYAKU実践の報告が始まったからです。

土肥慎二郎ガバナーにもご臨席賜り、ご祝辞をいただきました。ガバナーは東広島市から電車で呉までお越しになり、駅から会場までは歩いてKENYAKUされたそうです。

会食・歓談が始まり、親睦部門制作のスライド『KENYAKU運動～20年の歩み～』やクラブ創立50周年の創立記念日にあたる2010年3月30日に行った記念事業から『水保全ミュージカル』を上映しました。そして、最後は『みんなでKENYAKU実践報告』。

今回の懇親会は、企画自体がKENYAKUで貫かれていました。何より、会員同士がKENYAKU運動の継続やその成果を喜び分かち合うための絶好の機会となりました。

KENYAKU運動を始めた経緯について

2005-06年度の当地区の永富ガバナーが、月信No1(7月号)で、「水のため毎日6000人以上が死亡、年にすると220万人にもなります。」と指摘されました。

この年度のクラブ会長は、運営方針のひとつに、

「困っている人々に少しの儉約をして援助を行う」を掲げました。

また、この年度の国際ロータリーの会長の強調事項は、次のとおりでした。

その1 識字教育 世界人口の中で8億の人々が就職に必要な識字能力を備えていません。

その2 水保全 この地球上で12億の人が安全な水を手に入れることができません。

その3 個人が、クラブが、地区が行動の実践を 日々の行動を通して理想を実践するのです。

こうした国際ロータリーや地区やクラブ会長の方針を受けとめ生まれたのがKENYAKU運動でした。クラブ会長の運営方針の中から「儉約」を取り出して、それをローマ字表記して運動と一体化させました。

これにより、クラブ会員が、日々の行動において国際奉仕を意識し実践する態勢を作りたいと思いました。KENYAKU運動に取り組むことにより、他人の役に立とうとする思いを日常的に発揮することを意識してもらい、思いやりや奉仕の心を示す行動を継続していくというクラブの新しい目標を明確化しました。

運動の展開

例えば、自家用車やバスを利用しないで歩くなど。少し汗はかいても、それが世界平和や地域の人々の幸せにつながると思えば、いろいろと工夫ができるはずです。

この会員一人一人のKENYAKUという営為をまとめるため、「KENYAKU箱」と報告用の用紙を例会場に置き、1週間のKENYAKU実践報告を国際奉仕部門の担当者が発表し、それぞれの工夫や発見を皆で楽しんでいます。

また、報告されたKENYAKU内容と合計額や累計額を、毎例会後、会員にメール(メーリングリスト)で送信しています。皆さんのKENYAKUの成果を記録化して2度楽しみ、またその数を積み上げていくことで会員がKENYAKUする意志を継続し易いようバックアップ



土肥ガバナーもいっしょに、20周年！

しています。

さて、実績ですが、これまでのKENYAKU報告数は、令和7年10月22日時点で9220件、KENYAKU報告額の累計は1,051万6,052円です。

KENYAKU運動の3つの楽しみ

KENYAKU運動がスタートした時から、この運動には3つの楽しみがあると指摘しています。

第1の楽しみは、世界平和や地域の人々の幸せを考え、ちょっと工夫しながら、皆でKENYAKUし合う楽しみ。

第2の楽しみは、どのような奉仕ができるか、身の丈を考えながら、奉仕プロジェクトを皆で選んでいく楽しみ。

第3の楽しみは、実際に行った奉仕プロジェクトの成果を、皆で喜び合い、分かち合う楽しみ。

奉仕には我が身を削ってという面がありますが、息の長い運動ですので、むしろこの運動に取り組むこと自体に楽しさや喜びを感じ、できることから取り組みましようと呼びかけています。

KENYAKU運動は、この3つの楽しみというサイクルを経て、今後も継続して展開されていきます。ですから、20周年はKENYAKU運動の通過点に過ぎません。

KENYAKU運動の成果

2007年8月、西アフリカのベナン共和国の北部の人口242人の村に、バケツ巻き上げ方式の井戸の設置事業を支援しました。これがKENYAKU運動の最初の成果です。井戸が一つあることで住民の生活は大きく改善する、との想いから行った事業です。

続けて、2007年10月から中華人民共和国大連市金州区において、地元の中学生達と植樹活動を行いました。2012年3月には、呉東ロータリークラブが支援するインターアクトクラブのある呉工業高等専門学校と中華人民共和国の大連大学との学術交流の橋渡しをしました。環境問題その他、持続可能な世界という意識を日中両国の若者が共有していく架け橋となることができれば



8か所の子ども食堂に毎月10kgの米を1年間贈呈

未来の平和的発展の土台となる、という考えから実施したものです。

東日本大震災が発生した2011年3月には、「自分の中に平和がなければ、世界に平和をもたらすことができない」という当時の国際ロータリーの会長のメッセージを受け、一日も早い復興をと、『復興を願って KENYAKU』を始めました。このことが、KENYAKU運動の成果を社会奉仕プロジェクトにも活用する転機にもなりました。

これまで、地区補助金も活用して、いくつもの奉仕プロジェクトを積み重ねてきましたが、KENYAKU運動がロータリー財団や米山記念奨学会に対する寄附、あるいはニコニコに影響することはありませんでした。むしろ、自発的な寄附に対する会員の意識は高まったと思っています。

未来へつなぐ

地球的な規模で見れば、KENYAKU運動の成果は、取るに足らないものかも知れません。しかし、このKENYAKU運動は、地球的な規模で考えても一人一人が何かができるという、一人一人の人間が持つ力や歴史的な役割の自覚に繋がります。

また、地球的な規模の課題や地域社会のニーズに対する取り組みを誠実に継続しているという意味では、ロータリーの公共イメージ向上にも貢献し、また多くの仲間を引き寄せるてくれると思います。

最後に、冒頭の米贈呈の話題にちなんで、世界平和や地域の人々の幸福に向けた地道な取り組みであるKENYAKU運動を継続し、次世代へ「リレー」していくことの必要性をイメージしていただくため、大正時代の俳人であり司法代書人（現在の司法書士の前身）であった村土鬼城の句を紹介させていただきます。

「生きかはり 死にかはりして 打つ田かな」



奥本 哲之
(西条RC)

国際大会の概略は以下の通りです。

- | | |
|------------------|---|
| 1 開催場所 | 台北(台湾) △ 台北ドーム (Farglory Dome)
△ 台北南港展覽館 (TaiNEX) |
| 2 開催日時 | 2026年6月13日(土)～17日(水) 開会式:6月14日(日) |
| 3 登録方法 | マイロータリーよりオンラインで登録できます。 |
| 4 航空券・宿泊 | 地区主催のツアーはありません。各自でお手配ください。
①宿泊 マイロータリーよりオンラインで予約できます。
②旅行ツアー 旅行代理店による国際大会用ツアーもあります。
(2026年ロータリー国際大会URL https://convention.rotary.org/ja-jp) |
| 5 ガバナーナイト | 日時:2026年6月13日(土) 19:00 ～
会場:「欣葉 (SHIN YEH)」 台北市双城街34-1号
会費:未定
※詳細は後日ご連絡申し上げますので、是非ご参加ください。 |
| 6 台北 | 「美味しい、楽しい、優しい台北」は、歴史と現代が調和する国際都市です。
夜市の活気、美しい夜景、豊かな食文化、そして人々の温かさが訪れる人を魅了します。友情と奉仕の心を育むのにふさわしい街です。 |





国際ロータリー第2710地区 — 2025-26年度 新会員紹介 —



長谷川 寛朗
小野田RC
2025年5月7日
配電盤製造業



河田 朋子
小野田RC
2025年7月2日
金融業



畑 史善
小野田RC
2025年7月2日
税理士



田代 雅一
小野田RC
2025年7月2日
塗装工事業



滝 将彦
小野田RC
2025年7月2日
建設業



藤川 周二
小野田RC
2025年7月30日
電気業



松倉 晋一
小野田RC
2025年9月3日
建設運輸業



高原 靖定
小野田RC
2025年10月1日
金融業



西尾 真
小野田RC
2025年11月5日
運送業



沖田 育代
光RC
2025年10月6日
生命保険



河村 裕美
徳山セントラルRC
2025年10月20日
造園



熊谷 正明
広島RC
2025年10月7日
仏教



金岡 裕之
広島東RC
2025年10月8日
土木建築



川野 恵美
広島陵北RC
2025年10月29日
理美容品製造・販売



松川 啓義
広島東南RC
2025年10月27日
病院・外科医



中村 勝
広島東南RC
2025年10月27日
建設業



田村 祐二
東広島21RC
2025年9月22日
税理士



松重 健児
福山南RC
2025年10月9日
総合設備工事業

国際ロータリー第2710地区 2025-26年度会員増減・出席率(2025年10月度)

グループ	クラブ名	平均出席率	会員数				
			年度初 7/1	当月		本年度	
				末日	内女性	入会	退会
1	長門	86.69	25	25	3	1	1
	下関	73.47	43	45	2	2	0
	下関中央	69.24	38	39	7	1	0
	下関東	71.06	65	65	6	1	1
	下関北	72.02	58	58	4	0	0
	下関西	80.17	33	32	0	0	1
計			262	264	22	5	3
2	萩	79.02	42	43	3	1	0
	萩東	83.80	25	24	1	0	1
	美祿	68.01	18	20	1	2	0
	小野田	81.13	31	37	4	7	1
	宇部	94.47	38	36	4	0	2
	宇部東	72.69	9	9	1	0	0
3	宇部西	85.92	49	50	6	1	0
	計	80.72	212	219	20	11	4
	防府	91.01	57	57	2	1	1
	防府北	80.69	22	22	3	1	1
	防府南	83.65	44	45	9	1	0
	山口	77.79	44	48	4	4	0
4	山口県央	86.29	24	25	2	1	0
	山口南	94.57	42	42	7	0	0
	計	85.67	233	239	27	8	2
	光	81.84	52	54	5	2	0
	周南西	83.71	57	56	6	1	2
	徳山	98.69	40	43	2	3	0
5	徳山セントラル	78.45	20	21	3	1	0
	徳山東	100.00	42	42	2	0	0
	計	88.54	211	216	18	7	2

グループ	クラブ名	平均出席率	会員数				
			年度初 7/1	当月		本年度	
				末日	内女性	入会	退会
5	岩国	75.30	66	68	1	2	0
	岩国中央	86.00	38	39	6	1	0
	岩国西	85.90	64	66	6	2	0
	柳井	88.12	25	25	1	0	0
	柳井西	99.09	26	26	6	0	0
	計	86.88	219	224	20	5	0
6	広島	99.64	123	132	3	11	2
	広島安芸	99.51	33	35	4	2	0
	広島安佐	82.55	13	15	3	3	1
	広島東	96.21	108	122	11	15	1
	広島北	93.71	102	101	0	0	1
	広島陵北	96.20	44	45	3	3	2
7	大竹	85.33	24	25	0	1	0
	計	93.31	447	475	24	35	7
	広島中央	100.00	62	64	5	3	1
	広島廿日市	86.27	24	23	3	0	1
	広島城南	100.00	40	38	3	0	2
	広島南	100.00	86	86	0	2	2
8	広島東南	100.00	84	86	12	3	1
	広島西南	99.60	77	77	5	2	2
	広島西	99.81	92	93	7	2	1
	計	97.95	465	467	35	12	10
	江田島	93.22	17	17	0	0	0
	東広島	82.50	23	25	3	2	0
9	東広島21	90.65	21	21	3	1	1
	呉	84.53	71	71	5	0	0
	呉東	77.84	34	35	3	1	0
	呉南	91.84	43	44	1	1	0
	西条	99.89	44	46	1	2	0
	広島新世代	20.63	0	20	3	20	0
10	計	88.75	253	279	19	27	1

グループ	クラブ名	平均出席率	会員数				
			年度初 7/1	当月		本年度	
				末日	内女性	入会	退会
9	広島空港	82.43	28	27	4	0	1
	因島	93.62	14	16	0	4	2
	三原	88.10	49	50	1	1	0
	尾道	73.72	77	78	2	1	0
	尾道東	88.45	47	48	7	2	1
	計	85.26	215	219	14	8	4
10	府中	85.40	14	14	2	0	0
	福山	93.28	85	83	2	2	4
	福山東	78.22	32	37	2	5	0
	福山丸之内	89.32	22	22	1	0	0
	鞆の浦	71.29	15	15	0	0	0
	福山REC2710*	100.00	7	7	1	0	0
11	計	86.25	175	178	8	7	4
	福山赤坂	82.45	52	52	4	0	0
	福山北	90.84	32	30	2	0	2
	福山南	70.64	56	59	4	3	0
	福山西	87.13	40	40	5	2	2
	松永	95.97	54	54	7	0	0
12	計	85.41	234	235	22	5	4
	吉舎	96.30	9	9	0	0	0
	三次	70.15	40	42	1	2	0
	三次中央	93.66	33	32	5	0	1
	庄原	92.00	26	25	2	0	1
	東城	92.71	14	13	0	0	1
第2710地区計	計	89.76	122	121	8	2	3
	第2710地区計	86.49	3048	3136	237	132	44

※正式名称「福山ロータリー・エクスプレス2710」
【訂正】広島西南RC:年度初78名⇒77名

地区大会 in 宇部

和と絆

2026年
10月23日 金
24日 土
25日 日



2026-27年度

国際ロータリー第2710地区

地区大会 大会事務局

〒755-0043 宇部市相生町8-1 宇部興産ビル6F

TEL 0836-35-2776

地区大会 前日

10月23日 金

■ 宇部72カントリークラブ・万年池東コース
「記念ゴルフ大会」

地区大会 1日目

10月24日 土

■ 国際ホテル宇部

- 大会委員会
- 会長・幹事会
- 基調講演: 三浦 房紀 氏
- RI会長代理歓迎晩餐会

地区大会 2日目

10月25日 日

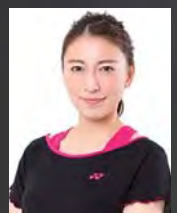
■ 大会 / 宇部市渡辺翁記念会館

- 本会議
- 記念講演

元バドミントン日本代表
小椋 久美子 氏

【プロフィール】

三重県出身。8歳の時、姉の影響を受けバドミントンを始める。2001年の全国高校選抜でシングルス準優勝を果たす。三洋電機入社後の2002年には全日本総合バドミントン選手権シングルスで優勝。その後、ダブルスプレーヤーに転向し、北京オリンピックで5位入賞、全日本総合バドミントン選手権では5連覇を達成。2010年1月に現役を引退。現在は子供たちへの指導を中心にバドミントンを通じてスポーツの楽しさを伝える活動を行っている。



国際ロータリー第2710地区
2026-27年度 ガバナー

わき 勝 かすや 和也

ホストクラブ

宇部ロータリークラブ

コ・ホストクラブ

宇部西ロータリークラブ
宇部東ロータリークラブ